

令和7年度第2回 川越市観光振興計画審議会

変更点まとめ

令和7年8月18日

次期川越観光振興計画の全体構成について

第二次川越市観光振興計画 改訂版

はじめに

第1章 計画の目的と位置づけ

- 1-1. 計画策定の目的
- 1-2. 計画の期間
- 1-3. 計画の位置づけ

第2章 現計画の評価

- 2-1. 現計画の中間評価
- 2-2. 戦略的重点施策（前期）の評価

第3章 川越市を取り巻く環境

- 3-1. 本市における社会状況
- 3-2. 本市の観光に係る現状と課題
- 3-3. SWOT分析による「強み」・「弱み」と観光振興の展開方法

第4章 観光振興計画

- 4-1. 基本理念・基本方針
- 4-2. 政策・施策
- 4-3. 戦略的重点施策（後期）

第5章 計画の実現に向けて

- 5-1. 役割分担
- 5-2. 財源
- 5-3. 数値目標

第6章 計画の策定経過

- 6-1. 組織体制
- 6-2. 川越市観光振興計画の策定経過
- 6-3. 川越市観光振興計画改訂版の策定経過

次期川越市観光振興計画

はじめに

第1章 計画の目的と位置づけ

- 1-1. 計画策定の目的
- 1-2. 計画の期間
- 1-3. 計画の位置づけ

第2章 川越市の概要と観光の現状

- 2-1. 川越市の概要
- 2-2. 主な観光資源・取組内容
- 2-3. 観光の動向

（追加）多くの人に、川越の観光について知ってもらえる計画書にしたいため

第3章 川越市の観光に係る課題

- 3-1. 第二次川越市観光振興計画の評価
- 3-2. 川越市の観光に係る課題

第4章 基本理念・基本方針と施策の方向性

- 4-1. 基本理念
- 4-2. 基本方針
- 4-3. 施策

（主な変更点）
○構造の変更
5層構造→4層構造
○持続可能な観光ガイドラインに沿った計画

第5章 具体的な取組と概要

- 5-1. 取組
- 5-2. 数値目標(KGI)

4-3の各施策ごとに、具体的な取組、概要、推進主体、実施期間（スケジュール）、KPI設定などを記載

第6章 計画の推進に向けて

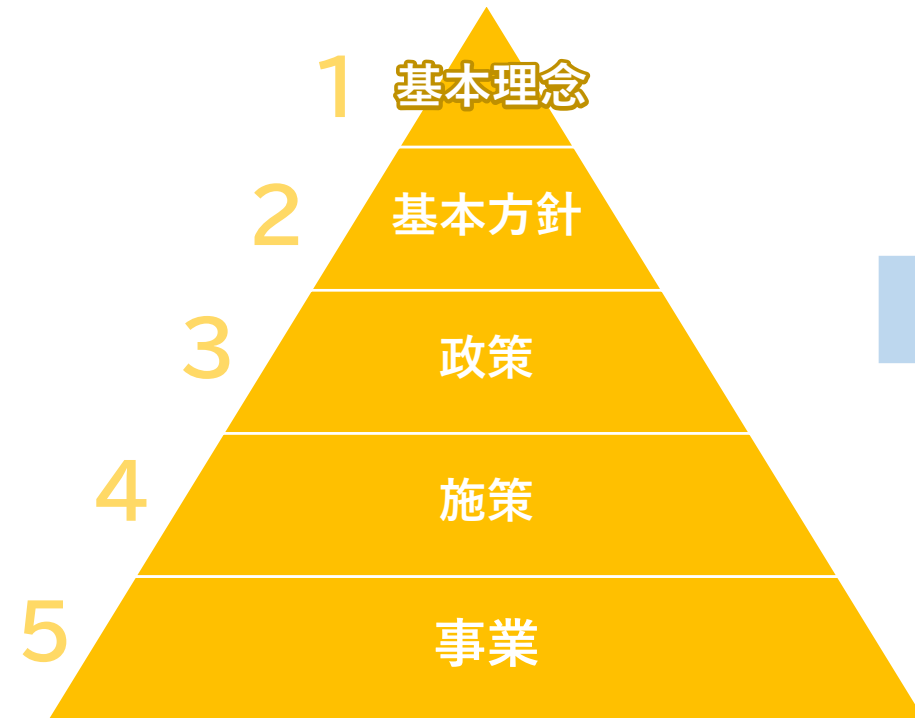
- 6-1. 推進体制
- 6-2. 財源

資料編

計画策定の経過 その他添付資料

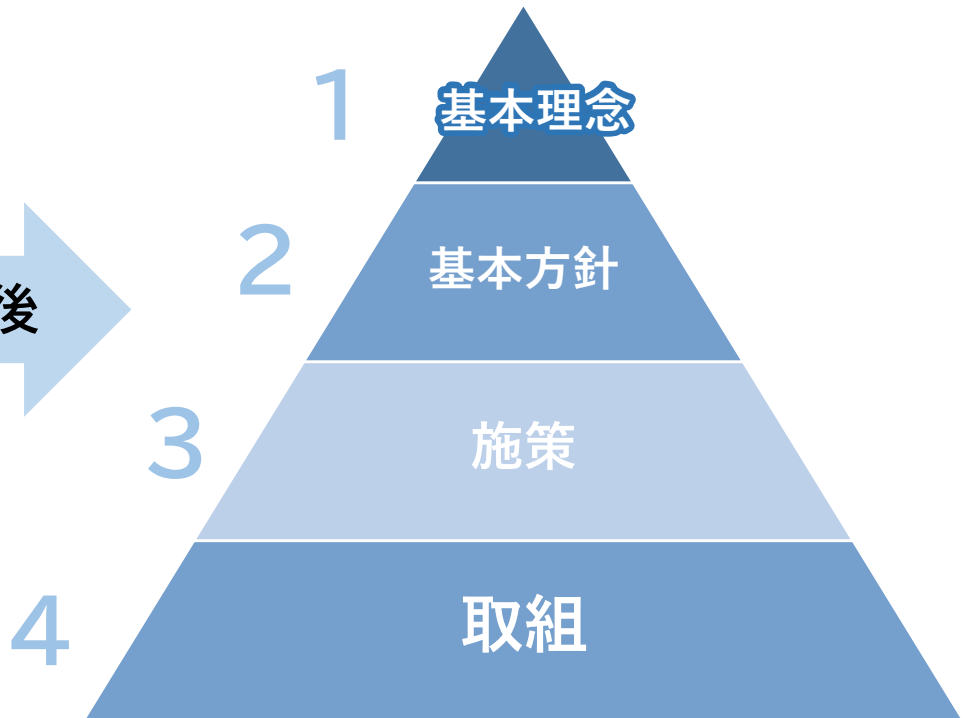
計画構成について

第二次川越市観光振興計画



変更後

次期川越市観光振興計画



変更
部分

- 政策と施策を統合 → 施策
- 事業の名称変更 → 取組

基本理念

5/22時点(第1回審議会)

「住んでよし、訪れてよし、営んでよし」の観光都市を実現するために、観光による消費額の増大を図り、市内の経済循環を高め、観光関連産業の振興や雇用の拡大へと繋げていく持続可能な観光都市小江戸川越を目指します。



以下の視点により変更

変更経緯

(5/22第1回審議会意見)

- ・「住民、観光客、事業者の3者が皆で取り組んでいかなければならない」、「住民が誇りを持ち、実践する」
 - ・「住んでよし、訪れてよし、営んでよし」という状態というのは、具体的にどういう状態なのか」、「現在の作りでは、「訪れてよし」が中心になっている気がするため、そこだけでなく、「住んでよし」、「営んでよし」にどう関わってくるのかをもう少し体系的に整理をすると強弱が分かってくる。」
- 上記意見から、3者それぞれにとっての観光及び状態について整理して基本理念に反映

(6/12会長相談)

- ・「基本理念は、よりコンパクトにまとめたほうが良い」、「住んでよし」の市民に関する内容が不足している気がする」
- 上記意見から、市民、観光客、事業者にとっての観光振興を整理し、3者の観光振興を実現する簡潔な言葉を基本理念としてまとめ、基本理念を説明する文章を作成。



基本理念

ともにつなぐ 小江戸川越らしさを未来へ

「住んでよし、訪れてよし、営んでよし」の観光都市の実現に向け、本市における観光振興が、市民、観光客、事業者の「三方」にとって有益となり、市の歴史、文化、伝統、自然環境などを活用しながら、持続可能な観光地域づくりを目指します。

また、「ともにつなぐ」という言葉は、市民、観光客、事業者が一体となって次世代に受け継いでいくという想いが込められています。

川越がいつまでも川越らしさを保てるよう、市民、観光客、事業者それぞれにとっての小江戸川越の魅力を高め、量よりも質を重視した観光振興を図ることで、小江戸川越らしさを未来へ受け継いでいきます。

(1)市民にとっての観光振興

川越の歴史・文化・伝統・自然環境などの価値を体験できるコンテンツの提供、祭りやイベントなど、観光施策に参画できる仕掛けづくりなどを推進します。そして、市民に川越の魅力をより深く知ってもらう施策を展開することで、本市に対する愛着、シビックプライドを向上し、観光地としての川越を誇りに思える観光地域づくりをします。また、観光客だけではなく、市民が活用することを想定した環境整備を行い、市民生活の利便性の向上を図ります。

(2)観光客にとっての観光振興

観光客に、川越の歴史と文化を体感・体験していただき、リピーターとして、また来たいと思ってもらえるような、心に残るコンテンツ造成、郊外の観光スポットを含む観光ルートの提案、受入環境の整備を行います。

(3)事業者にとっての観光振興

地域として多様な主体が連携し、川越の豊富な地域資源を活用した魅力的な観光事業を推進していくことで、観光客の満足度、リピート率を向上させます。その結果、川越で事業を営むことによるビジネスチャンスの拡大、経済的な利益の創出、雇用の安定化につなげます。

基本方針1 新たな観光資源の開発

政策1 本市が有する多様な観光資源の有効活用

政策2 国内外からの誘客促進

政策3 周遊促進と滞在時間の延伸

政策4 宿泊機会の創出

基本方針2 安心して楽しめる観光環境の整備

政策5 環境整備の充実

政策6 持続可能な観光の推進

基本方針3 協働による観光づくりの推進

政策7 市民の地域への愛着・誇りの醸成

政策8 広域観光の推進



基本方針1 持続可能な観光地域づくり

施策1 観光客の受入と生活環境への配慮

施策2 誰もが快適に過ごせる観光インフラと受入環境の整備

施策3 自然環境に配慮した観光振興

施策4 データを活用したマーケティング視点による効果的な施策・プロモーション展開(観光DX)

施策5 観光客の安全を守る危機管理体制の強化

基本方針2 観光を通じたシビックプライドの向上

施策6 観光資源を生かした市民参加型の観光地域づくりの推進

施策7 市民との協働による川越のブランディング

施策8 川越の歴史・文化・伝統の活用

基本方針3 地域経済の活性化

施策9 回遊性の向上と滞在時間の延長

施策10 宿泊機会の創出

施策11 地元産品の販売促進

施策12 安心して働ける雇用環境の整備

基本方針4 多様な主体との連携・協働

施策13 多様なコンテンツを活用したリピーター戦略(関係人口づくり)

施策14 観光関係者全体の連携による観光振興

施策15 広域連携による地域性を生かした観光振興

←基本方針2 に相当

←基本方針2 政策6から移動(文言修正)

←基本方針2 政策5から移動(文言修正)、5/22第1回審議会意見反映

←JSTS-D(D.環境のサステナビリティ)の視点追加

←5/22第1回審議会意見反映
JSTS-D(A.持続可能なマネジメント)の視点追加

←JSTS-D(A.持続可能なマネジメント)の視点追加

←5/22第1回審議会意見反映。
住んでよし、市民の視点を追加

←基本方針3 政策7から移動(文言修正)

←5/22第1回審議会意見反映

←基本方針1 政策1から移動(文言修正)
JSTS-D(C.文化的サステナビリティ)の視点追加

←基本方針1 に相当

←基本方針1 政策3から移動、5/22第1回審議会意見反映

←基本方針1 政策4から移動

←JSTS-D(B.社会経済のサステナビリティ)の視点追加

←JSTS-D(B.社会経済のサステナビリティ)の視点追加

←基本方針3 に相当

←基本方針1 政策2から移動(文言修正)、5/22第1回審議会意見反映

←JSTS-D(A.持続可能なマネジメント)の視点追加

←基本方針3 政策8から移動(文言修正)